



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2015年2月19日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、2月23日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

サノフィ、オリヴィエ・ブランディクール氏を最高経営責任者に任命

- 就任日は2015年4月2日 -

フランス、パリー2015年2月19日ーサノフィ取締役会は、全会一致で、オリヴィエ・ブランディクール(Olivier Brandicourt)氏をサノフィの最高経営責任者(CEO)に任命すると決定しました。

オリヴィエ・ブランディクール氏は、製薬業界において28年に亘るグローバルな経験を有し、直近ではバイエルヘルスケア社の役員会(ボード・オブ・マネジメント)会長およびバイエル社のエグゼクティブ・カウンシルメンバーとして活動してこられました。同氏はパーク・デービス/ワナー・ランバート、ファイザーなど数々の大手グローバル製薬企業で要職を歴任し、2010~2013年にはファイザーのグローバル・エグゼクティブ・リーダーシップ・チームの一員として活躍されました。

ブランディクール氏は医学教育を受け、欧州、カナダ、および米国で上級職を歴任されました。各種主要ヘルスケア部門の責任者として、製薬業界についての広範な専門知識と知見を有し、多数の新薬の上市を指揮し、戦略的な買収・統合を完遂してこられました。

サノフィ取締役会会長のセルジュ・ヴァンベルグは、「サノフィは厳しい選考過程を経て、サノフィにとって極めて重要な時期のリーダーにふさわしい人物を選択しました。オリヴィエ・ブランディクール氏がサノフィの次期CEOとなることを大変喜ばしく思います。ブランディクール氏は、豊富な経験を有し、国際的にも広く知られ、米国と新興ヘルスケア市場についての理解も深く、統率力にも優れていることから、多様化およびイノベーション(革新)を目指すサノフィの経営戦略を前進させる新たな推進力となられることでしょう」と述べています。

前雇用者との合意に基づき、ブランディクール氏は2015年4月2日付でCEOに着任します。

以上

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp



表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる可能性があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、ならびにサノフィの 2013 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。